

2011年(平成23年)度 第1回 理事会議事録

. 日 時 : 平成23年6月15日(水) 19:00~21:00

. 場 所 : 神奈川県作業療法士会事務所

. 理事会定数 16名

出席理事 : 錠内、浅井、奥原、木村、作田、小峰、野々垣、原、福留、三浦、澤口

委任理事 : 渡邊、佐藤、鈴木、富山、机、中西

出席監事 : 清宮、長谷川

その他 : 大郷、中尾(事務局書記)、松本(広報部ニュース班)

. 議長団選任

議長 : 錠内副会長

副議長 : 澤口事務局長

議事録署名人 : 錠内、浅井、清宮

. 配布資料

各・委員会より理事会資料

事務局 / 財務部 / 学術部 / 教育部 / 広報部 / 地域リハビリテーション部 / 福利部

ウェブサイト管理委員会 / 学会評議委員会 / 企画調整委員会 / 社会保障制度対策委員会 / 規約委員会

. 回覧資料

・東京都士会「平成22年度パイロット事業報告：福祉用具データベースと評価フォーマットの作成」

・第20回在宅医療・介護セミナー事業報告 / 京都市会「平成22年度パイロット事業報告：特別支援教育 OT チーム～特別支援教育に活かす作業療法の知と技～」

・神奈川 PT 士会「理学療法部門の責任者を対象とした出産・育児と仕事の両立に関する意識調査報告書」

・作業療法士のメンタルヘルス～神奈川県の現状について～(神奈川県士会正会員)

・神奈川県総合リハビリテーション事業団地域支援センター「第7回かながわ地域リハビリテーション・フォーラム報告書」

・第9回神奈川県介護支援専門員研究大会事業報告

・その他

. 報告事項

1. 財務部(野々垣理事)

1) 平成22年度監査報告(別紙:下記参照)

平成23年5月15日に監査を実施。前期と前々期で資本金の160万円を前年度の繰越金として収支報告していた。本来残さなければいけない財産の部分のため、今年度の予算のスタートからは除いている。

2) 会費振込用紙発送について

平成23年度分の会費振込用紙を4月22日に発送(1,513通)。メール便で転居先不明者には変更届けを同封し、郵便で再発送した。4月末の納入率は340件、21.4%(前年度は225件、15.23%)。5月分については6月15日に確定。コンビニ決済の納入期限は9月末日まで。ウェブサイト管理委員会へサイト掲載依頼済み。

3) 上半期事業費の振込について

6月1日付で各部の口座へ振込を行った。新理事となった部・委員会については、口座名義を変更中。通帳は6月15日の理事会で手渡しとする。

(参照)

平成23年5月15日

一般社団法人神奈川県作業療法士会理事会への監査報告

監事 長谷川元、清宮良昭

私たちは、平成23年5月15日に一般社団法人神奈川県作業療法士会の監査を行いました。監査に当たっては、各部委員会の活動報告、収支、領収書を確認しました。

監査の結果、本会の活動並びに収支がおおむね健全に遂行されていると認め、別紙の総会への監査意見書を提出いたします。また今後の活動に関して下記の点を改善することをお願いします。

記

- 1 予算案の収入の部で繰越金の中に資本金が含まれていたため、予算案から資本金を除いたものに修正を求めました。
- 2 将来の事業を見通すために貸借対照表と収支決算書の違いを意識した財務管理をすること。

2. 学術部（福留理事）

1) 研修会開催予定

2011年7月24日(日) 分野別講習【精神障害分野】 テーマ：【地域生活を支える ACT の実際】

講師：菅沼映里先生(作業療法士) 参加費：2,000円 場所：川崎市北部リハビリテーションセンター

2011年7月30日(土) 生涯教育講座【職場管理者養成講座】 テーマ：【臨床でのリスク管理】

講師：中村浩明先生(理学療法士) 参加費：無料 場所：ウイリング横浜

3. 教育部（奥原理事）

1) 研修会開催予定

現職者共通研修 *講師、座長は調整中

第1回：9月3日(土)・4日(日) 6テーマ：横浜リハビリテーション専門学校

*初日の3日終了後福利部主催新入会員オリエンテーション&歓迎会開催予定

第2回：11月23日(水祝) 2テーマ：ウイリング横浜

第3回：3月4日(日) 2テーマ(事例報告・事例検討)：ウイリング横浜

現職者選択研修(精神、発達) *詳細は未定

2012年2月4日(日)：ウイリング横浜

2012年2月5日(土)：ウイリング横浜

事例報告登録制度研修会 *詳細は未定

*OT協会学術部に協力依頼

*現職者共通研修の中に県士会講座として組み込んでの実施検討中

2) 生涯教育制度ポイントシール取り扱いマニュアルについて

研修会主催者用を配布した。運用に間違いのないよう、ご活用願いたい。

(意見) 運営委員が参加者として名簿に載っている場合、参加費を払っていないと収支でずれが生じてしまう。そのため有料参加者と無料参加者をきちんと分けておく必要がある(清宮監事)

ずれが生じないように有料参加者と無料参加者とに分けて名簿を作成します(奥原)

生涯教育制度ポイントシール取り扱いマニュアルより一部抜粋

<部員、当日のみ運営委員へのシール配布に関して>

* 運営委員の参加ポイントのシール配布に関しては、研修会ごとに部長・委員長の判断で以下の対応を原則とする。シールを配布する場合受講費を支払った上での配布が原則だが、研修会ごとに判断する。その際には参加への最大限の配慮が必要。

* 以下の県士会裁量ポイントは研修会当日には配布しない。

部員に関して

部員へは委嘱状の発行により年間2ポイントの県士会裁量ポイント（年間最大2ポイント。委嘱状による県士会事務局への手続きが必要で神奈川県士会では押印している）が発生している。研修会当日のポイントは不可。

ただし、参加したい研修会の場合には部長・委員長の参加への最大の配慮のもと参加ポイントのシール配布を可とする。まったく聴講していない場合には参加ポイントシールは配布不可。加算ポイントに関しても同様とする。

当日のみの運営委員に関して

運営委員の委嘱状の発行により1ポイントの県士会裁量ポイント（年間最大2ポイント。委嘱状による県士会事務局への手続きが必要で神奈川県士会では押印している）が発生している。研修会当日ポイントは不可。

ただし、参加したい研修会の場合には部長・委員長の参加への最大の配慮のもと参加ポイントのシール配布を可能とする。まったく聴講していない場合には参加ポイントシールは配布不可。加算ポイントに関しても同様とする。

4. 広報部（小峰理事）

1) ニュース編集班

・チラシ同封を依頼する手順の確認を行った。

窓口を事務局に一本化することで、第一印刷との手続きを正確に行う。

・23年度ニュース発行予定

号	発行月	掲載原稿 締め切り	封入チラシ 締め切り	主な記事
149	5月末	発送終了		
150	7月末	締め切り	7月10日	
151	9月末	8月10日	9月10日	
152	11月末	10月10日	11月10日	
153	1月末	12月10日	1月10日	
154	3月末	2月10日	3月10日	総会案内

ニュースに記事掲載を希望する場合は、上記の「掲載原稿締め切り日」までに、Word文書ファイルで松本へ（アドレス matsumoto.m@yokohama-rf.jp）メール添付にてお送りください。

各部の掲載予定は、できれば年間計画としてお知らせいただくと助かります。

2) 対外広報班

・活動予定

学生向けの啓発活動 新宿セミナー横浜校での講演

6月18日 13:00～14:00 また 14:00以降 ブース出展予定

OT協会パイロット事業への参加

広報開始 7・8・9月の講習会に参加

地域・関連職種への啓発活動

YOTEC ブース出展（7月）

5. 福利部（錠内副会長代読）

1) 新入会員オリエンテーション&歓迎会について

平成23年9月3日（土）現職者共通研修終了後開催予定 内容は7月理事会までに検討。

6. 地域リハビリテーション部（木村理事）

1) 県士会ニュースへの記事掲載

149号 見開き1P記事掲載、研修会案内チラシを2部同封

150号 見開き1P記事掲載、研修会案内チラシ1部、アンケート1部（別紙）

2) 研修会開催予定

第2回訪問リハビリテーション実務者研修会 2011年8月20（土）～21（日）横浜リハビリテーション専門学校

OT・PSW合同研修会（第7回地域リハ勉強会）2011年9月18日（日）ウィリング横浜

第1回訪問リハビリテーションキックアップ研修会（仮）2012年2月4（土）～5（日）

については今後「訪問リハビリテーション連絡会（仮）」で運営することを検討中

OT協会パイロット事業講習会 7月9日（土）8月20日（土）9月10日（土）

7. 福祉用具委員会（錠内副会長代読）

1) HCR（国際福祉機器展）について

5月27日（金曜日） 東京都士会と打ち合わせ実施。

HCRの展示及びセミナーの企画内容について検討した。

（展示について）一般向けの内容とする。

- ・県士会と都士会の活動内容についての掲示
- ・作業療法についての掲示（福祉用具とOTの関係について）
- ・関東エリアの訪問リハや福祉用具について相談できる施設などの一覧を作成して、必要な方に配布する。
- ・神奈川県士会のパンフレット、事例集（昨年作ったもの）を置く

（セミナーについて）：よりOT向けの内容とする。

- ・ALSのパイロット事業の報告とコミュニケーション機器についての具体的なアプローチ内容についてなどの研修を組む（予定）

*次回話し合いにて、より具体的な方法を検討する予定。

8. 社会保障制度対策委員会（三浦理事）

1) 平成23年度の活動として下記2点を重点的に行う

作業療法士に関わる社会制度（医療保険、介護保険、自立支援法等）の情報の収集および伝達

H24年度の制度変更に向けての情報収集

上記内容を基に、ブログなどにて変更点を判り易く説明

社会保障制度の学習機会の提供

基礎知識を理解していただくためのコンテンツの作成

（意見）社会保障制度に関する研修会を開く場合、委員会主催で行ってよいものか（三浦理事）。

行っていただいて良い。補正予算を立てて実施は可能ではないか（錠内副会長）。

9. ウェブサイト管理委員会（作田理事）

1) ドメインの変更作業について

県士会サイトの移転作業を、6/4から6/12にかけ実施中であり、理事会時には終了している予定。

ドメインの変更にともないメールアドレスも変更されます。すでにメーリングリストで案内（メールアドレスおよびメーリングリストの作成について）を出しましたが、メールアドレスおよびメーリングリストの作成を検討している部署は、作田まで連絡ください。

メールアドレスを作成した部署：事務局，学術部，教育部，財務部，地域リハ部，福利部，ウェブ管

一般社団法人 神奈川県作業療法士会 2011 年度第 1 回理事会議事録
 メーリングリストを作成した部署：理事役員，学術部，地域リ八部，パイロット事業，福利部，ウェブ管
 メールアドレスは無制限に作成が可能，メーリングリストは 30 個まで作成可能，

メーリングリストを各部・各委員会で作っておくと、情報交換等に有効に活用できます。各部・各員会で一つ作成することをお勧めします。

2) 県士会サイトへの記事の掲載依頼について

次のページの記事掲載基準に準じた掲載内容であれば、県士会サイトへの記事の掲載が可能です。下記「記事掲載の形式」および「記事の原稿について」を参照し、ウェブサイト管理委員会へ直接ご依頼，またはご相談下さい。

宛先：ウェブサイト管理委員会（作田）

通常は sakuda@nr.showa-u.ac.jp または kaot@kana-ot.jp へ

添付ファイルのサイズが 5MB を超えるような場合は kaot@kana-ot.jp へ

記事掲載の形式

	タイプ 1：合同ページ	タイプ 2：単独ページ	タイプ 3：ブログ形式
概要	講習会情報や会員へのお知らせなど、テーマに沿ったページへ記事を掲載する	単独の専用ページを作成し、記事を随時入れ替え・追加を行う	ブログシステムを活用し、情報を発信する
実例	「講習会・研修会」のページ 「お知らせ」のページ	「新プロ・現職者研修」 「総会・議案書・等」 「会員実態調査」 「OT 協会・生涯教育制度について」 「県士会ニュース・バックナンバー」 「求人情報掲載板」，など	「法人格取得への道」 「お届け！生涯教育制度のあれもこれも」 「福利部の田中さん」 「ウェブ管の知恵袋」
特徴	単発発信の情報に向いている 掲載期限が来ると記事は削除する	複数発信の情報に向いている 記事は永続的に保存も可能、適宜削除も可能	連載もののような高頻度に発信する情報に向いている ブログシステムの設置が完了すればウェブ管を通さず記事の投稿ができる
欠点	掲載作業はウェブ管が行うため情報の発信が若干遅れる 他の情報に埋もれてしまうこともある	掲載作業はウェブ管が行うため情報の発信が若干遅れる	記事投稿の継続性が求められる
掲載依頼	ウェブ管への事前の相談は不要 記事の原稿はメール添付でもメール本文への記入でも可能（作田へ） なお、投稿用フォームメールも設置している（作田が受信する）	専用ページを作る前にはウェブ管との打ち合わせ（メールで可）が必要 専用ページの設置後の記事の掲載は、記事の原稿をメールで作田へ送信する（添付でもメール本文でも可能）	ブログシステムの設置や使い方の説明などで、何度かメールなどで打ち合わせ（メールで可）が必要となる 設置後の記事の掲載はウェブ管を通さずに可能となる

記事の原稿について

ウェブサイトへの掲載が向かない原稿

複雑なレイアウトや文字の装飾を行っている原稿。例えば、フォントの種類を工夫したり、サイズを変えたり、インデントを多用していたり、図形や記号を折り込んでいたり、レイアウトボックスなどでレイアウトを工夫しているような原稿は向いていません。注意点としては、などの丸数字は機種依存文字であるため使用できません。原稿中に使用しないようお願いいたします。

テキストと写真や単純な図形で構成される原稿は対応が可能。テキストのみが最適です！

具体的な掲載例

本文のみ 地域で困ったときのリンク集 http://kana-ot.jp/bu/chi_link.htm
本文 + 写真 コラム「作業療法を語る」 http://kana-ot.jp/serial/rc1_1i.htm
本文 + 表 新プロ・現職者研修 <http://kana-ot.jp/bu/gakuju.htm>
PDF 理事会議事録 <http://kana-ot.jp/general/giji.htm>
かなり頑張った例（推奨しません） 入会のお誘い http://kana-ot.jp/general/c_chief.html

記事掲載基準

「サイト全体の記事掲載基準」

神奈川県作業療法士会公式ウェブサイト(以下,県士会サイト)では,以下の1~5のいずれかに該当し,かつ6~8のすべてに該当する記事を掲載します。

1. 神奈川県作業療法士会員に利益が生じるもの
2. 神奈川県作業療法士会を広く広報するもの
3. 作業療法全般を広く広報するもの
4. 神奈川県民の健康増進に寄与するもの
5. 神奈川県作業療法士会理事会(以下,理事会)または事務局長が掲載を許可したもの
6. 著作権などの他者の権利や利益を侵害していないもの
7. 誹謗・中傷的表現が含まれていないもの
8. 個人情報の取り扱いに倫理的配慮があるもの

ただし,これに限らず,理事会,事務局長,ウェブサイト管理委員会が掲載に不適切と判断した場合は,記事を削除,または掲載をご遠慮いただくことがありますのでご了承下さい。

「講習会・研修会」ページの記事掲載基準

「講習会・研修会」ページでは県士会サイト掲載基準に加え,以下のいずれか一つの条件にあてはまるものを掲載します。

1. 神奈川県作業療法士会が主催する講習会・研修会・勉強会等である
2. 神奈川県内で開催される講習会・研修会・勉強会等である
3. 神奈川県作業療法士会員または神奈川県民が参加できる講習会・研修会・勉強会等である

ただし,主催者の営利目的の割合が大きいと判断された講習会・研修会・勉強会等は掲載を遠慮いただく場合がありますのでご了承下さい。

(平成 17 年 7 月 12 日 理事会承認)

10. 事務局(澤口事務局長)

1) 渉外活動

平成 22 年度神奈川県エイズ対策推進協議会総会(3/28)

東日本大震災のため中止 出席予定:長谷川監事

神奈川県保健福祉局医療部健康増進課より「神奈川県リハビリテーション協議会」委員の推薦依頼

三役にて協議し,前任者渡邊会長継続とし,締切 4 月 11 日(月)までに報告

NPO 法人神奈川県介護支援専門員協会より理事候補の推薦依頼

任期:平成 23 年 6 月 1 日~平成 25 年 5 月 31 日

三役にて協議し,前任者錠内副会長を継続とし,締切 5 月 2 日(月)までに報告

)平成 23 年度神奈川県介護支援専門員協会理事会

日時:5 月 12 日(木)

出席:錠内副会長

神奈川県医療専門職連合会

<6 団体>

神奈川県栄養士会・神奈川県放射線技師会・神奈川県臨床衛生検査技師会・神奈川県作業療法士会・
神奈川県理学療法士会・神奈川県臨床工学会

・定例理事会

日時：5月13日(金)

出席：錠内副会長

内容： 審議事項に記載

神奈川県病院学会第1回学術委員会

日時：5月18日(水)

出席：中西理事(渡邊会長の代理)

決定事項：

- ・開催日 2011/11/14(月)
- ・会場 神奈川県総合医療会館
- ・学会テーマ 救急医療と社会貢献に関するものとする。
- ・特別講演 災害時の医療状況などに関するテーマを、
岩手等で震災にあわれた病院の方をお願いする。
- ・一般演題 例年通り募集
- ・シンポジウム 学会テーマに関して

シンポジスト 下記会より1名ずつ

神奈川県病院協会

神奈川県看護協会

神奈川県病院薬剤師会

神奈川県臨床工学技師会

神奈川県放射線技師会

神奈川県理学療法士会

以上

なお、第2回学術委員会は9/7開催予定

例年通りであればいずれ、本会より一般演題座長、

当日運営お手伝い2名の推薦を依頼されるものと思われる。

神奈川県病院協会より第78回定時総会後の懇親会ご臨席依頼

日時：6月15日(水)午後5時30分より

場所：ホテルキャメロットジャパン4階「フェアウィンド」

※切：6月8日(水) 出席予定：佐藤副会長

平成23年度神奈川県病院医療関係団体連絡協議会の開催について

<12団体>

神奈川県病院協会・神奈川県医療社会事業協会・神奈川県看護協会・神奈川県作業療法士会・神奈川県病院・栄養士協議会・神奈川県病院薬剤師会・神奈川県放射線技師会・全国病院理学療法協会神奈川県支部・神奈川県理学療法士会・神奈川県臨床衛生検査技師会・神奈川県臨床工学会・神奈川県看護部長会・

今年度、神奈川県士会は会長兼事務局担当となる。

6月15日(水)前任者<連絡協議会会長：輪番制>の神奈川県看護部長会 会長(日本鋼管病院 看護部長)より錠内副会長及び神奈川県士会事務局にて引き継ぎを受けた。

今年度開催候補日は検討中。

2) 委員派遣、講師の紹介依頼など

小田原市保健センターより「平成23年度小田原市糖尿病週間行事実行委員の推薦依頼」事務局にて対応：前任者：野津氏・石井氏(ともに小澤病院)継続として締切3月30日までに報告

横浜市障害者更生相談所より横浜市障害者区分認定審査会委員の推薦依頼

委嘱期間：平成23年10月1日～平成25年3月31日

依頼されている部会は新横浜第2部会で開催日は第1週の金曜日、午前9時から。

野々垣理事を推薦予定(口頭)

真鶴町介護健康課より「平成23年度10月・11月認知症予防講演会」講師のご紹介依頼
内容：講義及び実技(レクリエーション等を取り入れながら楽しく脳トレーニングなど)

事務局にて対応：鈴木孝治理事を紹介する。

一般正会員より地元中学生の職業体験で当会の一般向け配布物品・協会版広報 DVD 等の貸出し依頼があり、事務局にて対応した。

「神奈川県認知症の人と家族の会」より作業療法士の講師紹介依頼

内容：軽度認知症者の家族向けプログラムの講義依頼

講義のポイントは「デイサービス等でのグループ活動についての説明（効果や意義）」や「利用への促進」等とのこと。通所系サービスに携わっている支援者から、わかりやすくお話をしてほしい。

事務局にて対応：錠内副会長に依頼済み。

川崎市地域雇用創造推進協議会[場所：川崎市産業振興会館 5 階]（川崎市・商工会議所など 12 団体からなる組織で、厚生労働省からの受託事業として福祉の人材育成と福祉機器開発の 2 つの事業を行っている）より後者の「福祉の現場とものづくりの現場を結びつけ、福祉機器の開発・改良のコーディネートをする『かわさき J プロジェクト』を昨年 7 月に立ち上げ、平成 25 年 3 月まで継続する事業を行うが、事業活動の参考にさせて頂きたく、作業療法士の方たちから話しをお伺いしたい、との申し出があった。

事務局にて対応：佐藤副会長、錠内副会長、村越先生を紹介。調整の結果、村越先生にて対応。川崎市経済労働局産業振興部新産業創出担当より「福祉製品アイデア募集の広報を県士会に依頼したい」との浅井理事に依頼あり 事務局へ転送

依頼内容： 広報のチラシを配布してほしい

応募要領を周知してほしい

製品化し、川崎市の中小企業の活性化につながる OT アイデアが欲しい。

協力の方向で三役にて検討：

について：県士会ニュースに同封できないか 事務局にて川崎市担当にチラシの有無を確認する。7 月末発行になる旨伝えたと、チラシは県士会ニュース発行部数分あるが、要検討とのこと（応募締め切りは 7 月末だった）。追って川崎市担当より連絡がある 結果を広報部に伝える。

について：ウェブサイト管理委員会で web サイト掲載（の掲載）の際に、川崎市 HP の「応募要領」サイトのアドレスを紹介してはどうか 事務局にて先方へ説明したところ、川崎市担当より川崎市 HP アドレス掲載の了承をとりました。

について：福祉用具委員会にまずは周知

3) OT 協会関連

平成 22 年度 協会表彰者決定（通知）＜神奈川県士会内＞ ご本人様にも既に通知済み

協会表彰：鶴見 隆彦 氏 鈴木 孝治 氏 （以上 2 名）

功労表彰：秋田 督子 氏 久保田 久仁子 氏 梅村 文子 氏 遠藤 美帆 氏
山下 俊悟 氏 南谷 祐子 氏 大石 則子 氏 杉山 いずみ 氏
鎌田 樹寛 氏 我孫子 富美代 氏 菅井 京子 氏 山口 芳文 氏

（以上 12 名）

WFOT 国内組織委員会

日時：平成 23 年 4 月 10 日（日）13 時～17 時

場所：OT 協会事務局

出席：佐藤副会長、澤口事務局長 錠内副会長は後援展示委員長として出席

内容：2 月 8 日～11 日 第 16 回 WFOT2014 Team Japan 第 1 回合同会議の経過報告

大会日程の確認：2014 年 6 月 18 日（木）～21 日（土）の 4 日間

Team Japan 組織図の役割確認 大会運営委員長は渡邊会長 後援展示委員長は錠内副会長

その他独立採算特別プログラムの副委員長に神奈川県士会会長、構成メンバーに東京・埼玉・神奈川県士会（案：施設見学、歓迎会、懇親会の実施、ボランティア要員の確保と研修、市民文化交流、ホームステイ、市民講座など）

大会テーマ 山根氏の案をたたき台に学術委員会で決める

予算 夏までに決める 参加費は通して 4 万円？

広報展開 ウェブサイトを早めに立ち上げる

クリニカルパスの作成(案)

・演題登録・プログラム

演題登録開始 2012年12月

演題登録締め切り 2013年3月

査読開始 2013年4月～6月中旬

プログラム編成・採択通知 2013年6月以降

2013年の国内大会時にプログラム編成委員会を実施(要検討)

大会運営委員会や神奈川県士会の担当委員会の始動はいつ?

まずは2011年にテーマが決まり、2012年にプログラムが決まり、2012年末に演題募集が始まる。すると、大会運営委員会等が本格的に始動するのは2013年?(澤口私案)

・参加登録

早期事前登録 2013年1月～2014年3月

事前登録 2014年4月～開催2週間前

・各種イベントについて(案)

) 展示オープニング 展示会場

) 開会式/閉会式 国立大ホール

開会式: 皇室メンバーの参加検討 日本学術会議への申請要(2011年11月申請書提出)

閉会式: ダイジェストDVDの上映検討

) 懇親会 候補地: 大棧橋ホール

東日本大震災関連

被災会員(OT協会会員)の復職支援について依頼あり<メールより抜粋>

(社)日本作業療法士協会事務局(災害対策本部連絡調整室)です。

今回の大震災により被災した会員の復職・再就職を支援するために、協会として「求人情報」を集約し、協会ホームページに掲載していくサービスを始めることになりました。詳細については添付の文書をお読みいただき、ご無理のない範囲で貴士会にもご協力いただけましたら幸甚に存じます。 災害対策本部 連絡調整室

事務局にて対応(福利部とも調整): 県士会HPに依頼主より求人広告を掲載する際に、OT協会の申し入れをお伝えし、了解のとれた依頼主に限り、OT協会にも紹介することとした(3月新規の求人より対応。OT協会より特段の指示のない限り当面継続する予定)

作業療法の視点から、多職種で構成する「生活機能対応専門職チーム」への参画、ボランティアの現地派遣をするにあたり被災地に送る物品の支援について(依頼)<メールより抜粋>

協会ホームページでお知らせしておりますように、4月3日からパイロット的に被災地に入り、4月後半から本格的なボランティア活動を展開していく予定です。今後の活動に向けて、作業療法的な支援を行うための種々の物品を準備していく所存ですが、その一部を各士会からもご提供いただくことができないか、調査させていただくことになりました。

依頼物品一覧: 杖・靴・椅子・踏み台・自由樹脂・熱可逆性樹脂・福祉用具・アクティビティ用品・園芸用品・レクリエーション用品・その他

事務局にて対応: 当会は例えば県内ブロック制というものもないため、県全体として集約ができなかった。当面の措置として、各理事に依頼。結果、1施設より提供の申し出あり。その旨を報告した(その後、協会よりまだ連絡はありません)

平成23年度都道府県OT士会連絡協議会総会について

日時: 平成23年6月23日(木)午後2時30分～5時00分

場所: 彩の国すこやかプラザ

(さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65) TEL048-822-1195

内容: 役員輪番制について、その他

出席者の確認: 渡邊会長所用により欠席 代理: 澤口

総会終了後に30分ほどですが、支部会も予定

第9回協会・都道府県士会合同役職者研修会

目的: 協会と都道府県士会が協会活動(長期計画)に基づき、各事業を推進し作業療法を発展させていく

ための諸活動の連携と情報の共有化の推進

日時：平成 23 年 7 月 30 日（土）12：45 受付開始～7 月 31 日（日）9：00～12：30

場所：日本工学院専門学校 3 号館（新校舎）

（大田区西蒲田 5 - 2 3 - 2 2）

参加者：協会理事・部長・委員長等及び都道府県士会会長もしくは役職者等（約 120 名予定）

震災による節電を考慮して今年度は懇親会を行いません。

< 現在予定している内容 >

東日本大震災後の復興支援等について

- ・被災地の状況と OT 協会の取り組み、今後の予定等
- ・各士会の支援状況の報告
- ・今後の活動に関する意見交換

平成 22 年度作業療法推進活動パイロット事業の成果報告

- ・東京都士会、神奈川県士会、京都府士会
 - 公益法人制度改革について
 - ・代議員制導入についての進捗状況と報告、代議員選挙に向けた協会・士会との連携について意見交換
 - 協会・士会との意見交換
 - ・5 ヵ年戦略に基づく事業運営等
 - ・5 ヵ年戦略の達成状況と現在積み残した課題
 - ・5 ヵ年戦略終了後に協会および士会で特に重点的に取り組むべき課題
- 基調講演 等

県士会より 2 名まで出席 < 〆切 6 月 15 日（水）F A X 必着 >

出席者：渡邊会長は協会側にて出席

木村理事（パイロット事業の報告者）

錠内副会長

平成 23 年度 訪問リハビリテーション地域リーダー育成研修会について

主催：全国訪問リハビリテーション振興会

目的：訪問リハビリテーションに関わる情報の共有、昨年実施された実務者研修会の成果報告と課題の検討（安定して継続的に運営していくためのシステム作り・効果的に実務者を育成するカリキュラムの再考）本会の役割と方向性の確認など

日時：平成 23 年 7 月 14 日（木）・15 日（金）の 2 日間

対象：定員 200 名で各士会より 1 名の推薦（PT 士会・OT 士会・ST 士会より各 1 名）

会場：タイム 24 ビル 研修室 203（東京都江東区晴海 2 - 4 - 3 2）

当士会の出席者の確認（〆切：6 月 30 日）をしたい。

参加要件

- ）理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 各協会の協会員であり、各都道府県士会の推薦を受けた会員であること
- ）訪問リハビリテーションの実務者を継続的に指導することにご理解頂ける方および次年度以降も継続的に実施される、本研修会等に参画していただける方
- ） の要件を満たす方が望ましいが、困難である場合、各都道府県士会の推薦を前提のうえ、全国訪問リハビリテーション振興会の趣旨に賛同し協力を願える方であれば可

昨年 9 月に開催された訪問リハ・地域リーダー育成研修会の参加者を最優先にする

全国訪問リハビリテーション振興会が開催する『訪問リハビリテーション管理者研修会 STEP 1』を既に修了された方、または今後、受講される予定の方が望ましい

神奈川県士会より 1 名 木村理事に依頼済み。

4) 庶務関連

かながわ福祉サービス振興会より「介護・医療分野ロボット普及推進事業最終報告書の送付があり、事務局に保管している。ご活用頂きたい。

神奈川県保健福祉局より「HIV相談と検査 実施機関一覧パンフレット - 神奈川保健所一覧」が届き、事務局に保管している。ご活用頂きたい。

5) 第3回定期総会総括・・・まだ事務局内会議を開催していないため、報告は7月理事会とする。

1.1. 第13回神奈川県作業療法学会 総括(浅井理事 兼 第13回神奈川県作業療法学会長)

経過について概略を示す

平成 21 年

10月22日 準備委員会(於;こども医療センター)原、浅井、坂本、渡邊
・県士会学会評議員より説明

12月15日 第一回実行委員会
・学会の日程、各委員会の工程表作成

平成 22 年

1月12日 第二回実行委員会
・各委員、部の委員、部員の任命
・全体の工程の確認、各委員、部でのスケジュール作成開始
・メイン、サブテーマの検討(プログラム委員)

*以後、月1回程度の全体の委員会を行い、各実行会、部局は随時会議を行う。

2月 ・テーマ決定

4月 ・県士会ニュースにて周知

6月 ・演題募集広告

8月 ・演題募集開始

・プログラム内容、具体案まとまる。シンポジス、展示協力企業、出店作業所等の選定、依頼作業開始

10月 ・ポスター作成開始

・他団体への協賛、周知依頼

12月 ・演題募集終了、演題集印刷依頼

平成 23 年

1月 ・来賓等依頼

2月 ・演題集完成、配付

3月 ・当日の進行表決定

11日 ・震災発生

15日 ・学会中止決定

4~6月 ・事後処理

上記の推移では震災発生が学会間近であったため、開催の可否の判断に猶予がなく、安全性及び社会状況の予測困難があったことから、中止の判断は妥当と思われる。また損壊や停電などがあったため物理的不安があったこと、他学会も延期や中止の対策をとっていたことも中止の判断の理由である。

(意見)異議なし。

今学会の予算について監査をまだ行っていない(野々垣理事)。

必要である。幹事監事が行うことになる。学会終了時の年度末に行えばよいので、H24年3月に実施する(清宮監事)。

・ 審議事項

1. 財務部（野々垣理事）

1) 部員の承認（3 名） 承認

長谷 龍太郎（神奈川県立保健福祉大学）

坂本 太郎（横浜労災病院）

有山 陽子（中途障害者地域活動センター都筑むつみ会）

2) 会計マニュアル説明会 実施する

7 月 9 日または 16 日の午後開催予定。各部の会計担当もしくは理事に参加をお願いしたい。

2. 学術部（福留理事）

1) 部員の承認（21 名） 承認

鴻井建三（横浜市立大学附属市民総合医療センター） 佐藤悦子（北里大学東病院）

小松里絵（新戸塚病院） 西前英紀（藤沢病院）

佐野生美子（国府津病院） 川口敬之（舞岡病院）

望永和美（百合丘地域生活支援センターゆりあす） 木村幸子（北里大学東病院）

佐藤雅也（横浜総合病院） 林市朗（あさひの丘病院）

友利幸之介（神奈川県立保健福祉大学） 永井善大（横須賀市立うわまち病院）

安部剛央（衣笠病院） 貫久美子（衣笠病院長瀬ケアセンター）

石川哲也（横須賀共済病院） 大寺亜由美（北里大学東病院）

高橋香代子（北里大学東病院） 前場洋佑（北里大学東病院）

佐々木秀一（北里大学東病院） 竹内寛人（北里大学病院）

篠田理恵（新戸塚病院）

部長：福留理事 副部長：中西理事

2) 査読委員の承認 7 月の理事会にて採択予定。

3. 教育部（奥原理事）

1) 部員の承認（15 名） 承認

西尾香苗（新戸塚病院） 芳村紘恵（横浜相原病院）

本藤広美（衣笠病院） 山口由花（汐田総合病院）

宮田千恵子（自宅） 小山恭子（横浜旭中央総合病院）

武井寛道（藤沢病院） 南波裕子（麻生リハビリ総合病院）

加川里花（介護老人保健施設 湘南の丘） 大場 文（介護老人保健施設 アゼリア）

足立夏帆里（東海大学医学部附属病院） 石井有希（横浜リハビリテーション専門学校）

金子 康（介護老人保健施設 湘南わかば苑） 今田雅子（独立行政法人国立病院機構 相模原病院）

藤原康子（県央地域就労援助センター ぼむ）

2) S I G 団体登録申請に関して

一件、申請書類受理、内容確認中。問題なければ次回理事会にて提出予定

4. 広報部（小峰理事）

1) 部員の承認（15 名） 承認

松本政悦（横浜市総合リハビリテーションセンター） 桜井大和（佐藤病院）

福島ひとみ（佐藤病院） 大宮幸恵（つづき病院）

菊池美帆（介護老人保健施設しらさぎ苑） 千葉友浩（厚木こころのクリニックデイケア）

矢野竜也（湘南中央病院） 堤由美子（青年海外協力隊）

酒井由香里（横浜新都市脳神経外科病院） 八木橋絵美（横浜新都市脳神経外科病院）

水野友和（横浜新都市脳神経外科病院） 青木健（横浜新都市脳神経外科病院）
 久保田友佳（横浜新都市脳神経外科病院） 増田理恵（横浜新都市脳神経外科病院）
 馬場順子（横浜市精神障害者就労支援センター）

5. 福利部（錠内副会長代読）

1) 部員の承認（8名） 承認

大谷内郁（けやきの森クリニック） 椎野絢子（平塚共済病院）
 三森夏穂（汐田ヘルスクリニック） 畠中佳代子（藤沢市民病院）
 橋本早紀（関東労災病院） 平村徹（済生会神奈川県病院）
 奥田萌（汐田ヘルスクリニック） 秋本拓哉（日本鋼管病院）

6. 地域リハビリテーション部（木村理事）

1) 部員の承認（14名） 承認

河村 晃依氏（北里大学） 井上 亜紀子氏（鶴見南訪問看護ステーション）
 金沢 隆之氏（相模原市役所介護予防推進課） 柴崎 千種氏（新緑脳神経外科）
 足立 雄介氏（鶴巻温泉病院） 末吉 藍氏（新戸塚病院）
 小室 容子氏（鶴巻温泉病院） 原島 淳氏（川崎市北部リハビリテーションセンター）
 酒井 広樹氏（ライフプラザ新緑） 田中 裕美子氏（川崎市北部リハビリテーションセンター）
 山道 三奈子氏（ライフプラザ新緑） 吉川 雅子氏（神奈川県立茅ヶ崎養護学校）
 高橋 茂喜氏（神奈川県立金沢養護学校） 千田 理美氏（新緑訪問介護ステーション長津田）

2) 訪問リハビリテーション事業所の調査

調査票（別紙参照）の配布方法・回収方法について

プラン

配布方法：県士会ニュースに同封予定
 回収方法：各事業所の代表者が記入し FAX にて返送
 コスト：調査票の印刷代、第一資料印刷への配送（約 5,000 円）

メリット：安価
 デメリット：個人に配布されるため事業所としての回答が得られにくい

プラン

配布方法：各事業所に配布
 回収方法：各事業所の代表者が記入し FAX にて返送
 コスト：調査票の印刷代、配送費（約 35,000 円未満）

メリット：事業所の代表に確実に配布される
 デメリット：プランと比較すると割高

プラン

配布方法：各事業所に配布
 回収方法：各事業所の代表者が記入して郵送
 コスト：調査票の印刷代、配送費、返信用切手代（約 65,000 円以上）

メリット：正当なアンケート手法で回答が得られやすい
 デメリット：割高、返信用切手が無駄になることも

審議の結果、今回は初めてということもありプランで行う方向となった。

7. 福祉用具委員会（錠内副会長代読）

1) 委員の承認（12名） 承認

木下 剛（済生会横浜市東部病院） 沼田 一恵（横浜らいず）
 田中 秀和（横浜新都市脳神経外科病院） 牧山 大輔（横浜新都市脳神経外科病院）
 川辺 均（茅ヶ崎新北陵病院） 田畑 雄吉（ふれあい平塚ホスピタル）
 三村 ゆり（新戸塚記念病院） 川上 新（済生会神奈川県病院）
 菊池 泰雅（ナーシングピア横浜） 佐谷 瑞紀（レストア横浜）
 網谷 麻里矢（大和徳洲会病院） 金原 衣理子（横浜宮崎脳神経外科病院）

8. 社会保障制度対策委員会（三浦理事）

1) 委員の承認(5名) 承認

窪田 聡(国際医療福祉大学小田原保健医療学部)
出口 弦舞(国際医療福祉大学小田原保健医療学部)
小林 志帆(神奈川県病院)
清 亜由子(茅ヶ崎徳洲会総合病院：継続)
横川 知奈(神奈川県病院：継続)

9. ウェブサイト管理委員会（作田理事）

1) 委員の承認 承認

金子香菜子（池上総合病院）	佐藤 良 枝（曽我病院）
大 澤 彩（昭和大学保健医療学部）	福 嶋 祐 子（汐田総合病院）
平 澤 友 代（新戸塚病院）	水 野 玲 子（東海大学医学部附属大磯病院）
三 苫 幸 恵（ハートフル川崎病院）	

2) 原稿の依頼

各部・各委員会のページの更新（各理事）

県士会サイトに掲載している各部署ページの記載内容の更新をお願いします。

- ・活動内容の紹介・・・必要に応じて書き換えてください
- ・H23 年度活動計画・・・今年度の内容へ書き換えてください
- ・構成部員・委員・・・必要に応じて書き換えてください
- ・部長・委員長からの一言・・・必要に応じて書き換えてください

締め切り：誠に勝手ながら締め切りを 6 月 26 日までとさせていただきます。

原稿は作田[sakuda@nr.showa-u.ac.jp または kaot@kana-ot.jp]までメールでお願いします。

（必要であれば）「県士会長のあいさつ」のページの書き換え

内容：本文（500～1000 文字程度）

10. 学会評議委員会（原理事）

1) 「第 1 回神奈川県臨床作業療法大会」名称の推薦と大会長の推薦

正式名称とする 承認

大会長：鴻井建三（公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター） 承認

委員：山岸誠、伊藤淳子、椎名えりか、古田崇浩、佐野邦典（公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター）加藤千尋（横浜市立脳血管医療センター）、鈴木康弘（聖テレジア病院）

開催日（予定）：2012 年（平成 24 年）4 月 15 日（日）

会場：川崎市立産業文化会館大ホール（予約済み）

利便性を考え、他のホール等も検討中

2011.5.23 第 1 回実行委員会実施。

7 月理事会に大会長出席予定。事業計画・予算報告。

（意見）第 13 回の県学会にエントリーした演題については、別の発表の場はできないか。第 3 回定期総会でも正会員より意見があった。

（見解の確認）すでに学会誌としても刊行しており、一論文とみなされる以上、他の学会での発表は認められない。しかし、第 1 回神奈川県臨床作業療法大会のみ認めても良いのではないか（神奈川県内の作業療法に限定されたものなので）。ただし、選考にあたって優先されるとは限らない。

2) 「第 14 回神奈川県作業療法学会」学会長の推薦

学会長：菅原洋子（国際医療福祉大学小田原保健医療学部） 承認

実行委員長：鈴木孝治（国際医療福祉大学小田原保健医療学部） 承認

開催日：2013 年（平成 25 年）4 月 14 日（日）または 4 月 21 日（日）開催予定

会 場：未定

2011.5.28 第 1 回打合せ実施。夏頃までに実行委員会立上げ。

- 3) 会場の予約等の業務等を県土会事務局員に依頼できるか。
(平日、会場まで手続きや抽選会など) 三役会で検討する。
(意見) 学会運営委員が通常(臨床)業務に支障が出ない体制にしてほしい(原理事)。
三役会で検討する(錠内副会長)
- 4) 委員の承認(3名) 承認
田中ゆかり(藤沢市保健医療センター：継続)
岡田 貴富(相模原市立陽光園：継続)
川口 美緒(湘南敬愛病院：新規)

1.1. 企画調整委員会(浅井理事)

- 1) 部員の承認(1名)
鈴木孝治(国際医療福祉大学小田原保健医療学部) 承認
- 2) 各部への依頼
平成 23 年度上半期予定表の作成を各部に依頼していく。

1.2. 事務局(澤口事務局長)

- 1) 部員の承認(6名) 承認
名古屋和茂(横浜 Y M C A 学院専門学校) 金山 桂(横浜 Y M C A 学院専門学校)
大郷和成(新戸塚病院) 中尾聡子(新戸塚病院)
半田和美(在宅リハビリ訪問看護ステーション TOMO) 芳賀吉朗(武田病院)
- 2) 渉外関連
) 神奈川県医療専門職連合会
神奈川県医療専門職連合会通常総会の開催について
日時：平成 23 年 6 月 22 日 18 時 30 分～19 時 総会后に学術講演会あり(19 時～20 時 30 分)
場所：中外製薬(株)横浜支店会議室
神奈川県土会の役割 総会議長 木村理事
出席予定理事 錠内副会長、澤口事務局長、木村理事、小峰理事
総会后の学術講演会
[医療安全]について：テーマ 心臓ペースメーカーの電磁干渉 - 発生メカニズムの理解
講師 北里大学医療衛生部医療工学学科 臨床工学専攻 廣瀬 稔 准教授
神奈川県医療専門職連合会・広報委員会出席者の確認
・日時：7 月 8 日(金) 18：30～放射線技師会会議室 小峰理事
・8 月発行ニュースに各団体より記事掲載の依頼
テーマ：災害対策 画像も可。文字数 1,000 字 6 月末締切 小峰理事へ一任
) かながわ住まい・まちづくり協会との協同事業について
『国土交通省：高齢者等居住安定化推進事業(住まいのバリアフリーリフォーム支援事業)』を
かながわ住まい・まちづくり協会が受託。その事業遂行のために神奈川県土会に協力依頼が来ている。
「神奈川県住まいのバリアフリーリフォーム支援事業に係るケアの専門家の派遣に係る協定書」
に基づき、平成 23 年 5 月 30 日、調印致しました。
・ケアの職務内容：
・派遣された住宅における対象者の心身の状態並びに日常生活・動作に関する調
書の作成
・建築士等が作成した改修プランに対する助言
・工事完了後の改修内容に関する評価
・協定の有効期間：協定締結日から平成 25 年 2 月 28 日まで
・補足説明(渡邊会長メールより抜粋)

今年度は県全体で 60 件の住宅改修を予定しているとのことです。

川崎・横浜・横須賀地域で、作業療法士を 5～6 人程度登録したいので、選出をお願いいたします。

錠内副会長には、この事業の責任者として、先方との調整を含め上記内容を進めていただければ幸いです。

に基づき、9 名の委員を派遣（9 名） 承認

長谷龍太郎（神奈川県立保健福祉大学）	佐藤直樹（川崎社会保険病院）
錠内広之（日本鋼管病院）	村越妙美（川崎協同病院）
名古屋和茂（横浜 YMCA 学院専門学校）	机里恵（横浜リハビリテーション専門学校）
福留大輔（新戸塚病院）	大寺亜由美（北里大学東病院）
木下剛（済生会横浜市東部病院）	

3) 後援依頼 すべて承認

- ・横浜市リハビリテーション事業団より「ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2011」に対する後援依頼

行事名：ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2011

～福祉を支える人とテクノロジーの総合展～

日時：平成 23 年 7 月 22 日（金）・23 日（土）の 2 日間

会場：パシフィコ横浜 展示ホール D

参加対象者：一般市民（主として学生、障害者・高齢者）医療・福祉関係者、教育関係者

参加予定人数：16,000 人

入場料：無料

4) 災害対策部（仮称）設置の検討

- ・平成 23 年度第 3 回定期総会での正会員からの提案事項である。
- ・事務局として宮城県士会や OT 協会からの震災対応の報告資料を見る限り「県内の状況把握・情報収集」と「ボラ受け入れ窓口」の二面性は必要であった。システムの検討は必要か。ハード面とソフト面
例）事務局としてまずは会員の安否確認のシステムの構築が必要と提案する 県士会ブロック化の早期検討は必要ではないか。その他、県士会として何が必要かご意見を賜りたい。

（意見）実際にボランティアに行かれた方に集まって頂き意見集約してはどうか。

継続審議

木村理事より情報提供

災害対策についての状況を調査

ウェブサイトに掲載している情報より一部抜粋しています

	対応部署の設置	取 り 組 み
東京都	なし	
千葉県	なし	県内被災状況の把握とボランティア情報の掲載・リンク添付
埼玉県	なし	埼玉県内の被災者への支援として、「県内各地にある避難所でのボランティア活動を支援する」「埼玉県及び埼玉県医師会と必要に応じて三団体が協働して支援活動にあたる」「ボランティアの心構え、保険加入についての情報を明示する」の 3 点が決定
栃木県	なし	情報収集
群馬県	なし	「リハビリメール相談」の設置。リハビリに関する相談はなんでも可
茨城県	なし	ブログで情報発信

静岡県	災害対策委員会	研修会の企画「ボランティア活動報告」
岩手県	災害対策会議	3 士会合同災害対策会議の開催 県士会災害ボランティア活動の実施
宮城県	災害対策本部	会員の安否確認 避難所での支援活動

以上をもって審議議案はすべて終了。以下、議事録署名人が確認し記名押印する。

会議終了時間 21時 00分
 次回の理事会開催日時 平成23年7月21日(木)19時より
 開催場所 一般社団法人神奈川県作業療法士会事務所
 〒231-0011
 神奈川県横浜市中区太田町4-45 第一国際ビル301
 TEL/FAX 045-663-5997

議事録署名人	議長	錠内広之	印
	監事	清宮良昭	印
	理事	浅井憲義	印